

認知症の人と家族の安心のために ひとりの人として、組織として活動する人たち



株式会社平和堂
アル・プラザアミ 店長 杉橋 悦代(右)
インナーウェア売場主任 上出 則子(左)

お客さまが安心して暮らして、買い物できる場所になればと思っています。地域の中にはいろんな人が住んでいて、認知症の人も多くいるという声があり、どの店舗でも同じサービスを提供できるようにするため、2年前から全社員に向けて認知症サポーターの養成を始めました。

認知症に対する正しい知識を持つことで、どう接すると良いかが分かるようになり、家族の人に寄り添った対応ができるようになりました。認知症かどうかの判断はできませんが、その可能性を感じた時は、丁寧にゆっくり説明することを心掛けています。1番大事なのは笑顔です。誰に対してもですが、笑顔で少し声のトーンを明るくして話しかけること。一人ずつの様子を見て、相手から会話を引き出すことが大切です。

アル・プラザアミでは、認知症の相談やご家族同士が交流する「認知症カフェ」に協力しています。認知症の人とそのご家族も、私たちに頼れて、安心して買い物ができればと思っています。

認知症を正しく知り、笑顔で話すこと。ここが安心できる場所になれたら。



株式会社福井銀行
坂井町支店 支店長 善谷 一孝(左)
コンプライアンス統括チーム 伊藤 浩美(右)

福井銀行では、3年前に「認知症の方へのサポートガイドライン」を策定しました。ガイドラインには認知症の症状で怒りのコントロールができない場合、環境を変えると気持ちが楽になり安心する人もいるという対応事例を掲載しており、坂井町支店でも、お客さまに寄り添い、状況に合わせた対応をしていくよう職員と話合っています。

以前、認知症の症状がみられるお客さまから「開店まで店舗の掃除を一緒にやりたい」との申し出を受け、職員と一緒に草むしりを行いました。お客さまが、とても楽しそうにされていたのを今でも覚えています。認知症になったらすべてができなくなるのではなく、できることは本当に上手に一生懸命されるのだとわかりました。

福井銀行は「高齢者等SOS ネットワーク※」に登録しており、何かあれば市などと連携し対応しています。認知症の人のできることを支え、できないことはサポートする姿勢で地域をまるごと支援していきたいと思っています。

※詳しくは9ページ下段をご覧ください

この地域に暮らす人たちが、お互いに支え合って生きていけるように…。

「ちゃんと知ったら、ちょっと安心できた」 みんなで考えよう 認知症の人が暮らしやすくなるまち

もの忘れと認知症の違い

老化によるもの忘れ



- ・体験の一部を忘れる
 - ・もの忘れを自覚している
- (例)
朝ごはんを**食べたもの**を忘れてる

認知症による記憶障害



- ・体験そのものを忘れる
 - ・もの忘れを自覚していない
- (例)
朝ごはんを**食べたこと**を忘れてる

**認知症って
どんな病気？**
認知症は、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったたりすることにより、日常生活に支障がある状態のことです。原因となる病気はいくつかありますが、高齢者に限らず誰にでも起こる可能性があります。
予防・治療・周囲の関わりにより、症状を改善し日常生活を送りやすくすることが出来ます。そのためにも、早期受診・早期治療がとても重要です。

接し方のポイント

- ①気持ちに寄り添い自尊心を傷つけない**
一見理解できない行動にも本人なりの理由があります。寄り添った対応をしましょう。
- ②本人のペースに合わせる**
一度にたくさんのお話をすると混乱してしまいます。ゆっくり分かりやすく伝えましょう。
- ③笑顔でにこやかに接する**
理解はできていなくても表情や感情は伝わります。笑顔で接するよう心掛けましょう。

もっと詳しく
市認知症
ガイドブック
はこちら



▲各地域包括支援センターで配布中

**優しく寄り添う
周りの人の接し方**
認知機能が低下することで、いろいろなことが分からなくなっているようでも、その人らしさや感情がなくなっているわけではないかもしれません。今までの自分ではありていくことに、不安や悲しみを一番感じていたのは本人です。
そのため、私たちが優しい言葉をかけたり、手助けしたりすることで気持ちが穏やかになり、地域での生活を少しでも長く続けることができるようになります。

どんな立場でも できることがある

最初の一步は、知ること

認知症講演会の開催

認知症に関する講演会を開催します。講演会前には、脳年齢測定などの健康チェックができます。ぜひ、ご参加ください。

テーマ 「地域で生活する認知症 一人ひとりが家族を温かく見守るために」

講師 福井大学医学部附属病院 山村 修先生

とき 9月7日(土) 10時～11時

ところ 坂井市役所

定員 50人
注意 健康チェックは9時～10時で、来られた順に実施します。また、健康チェックのみの参加はできません。

申込締切 9月2日(月)

申込方法 高齢福祉課まで電話またはFAX、専用の申込フォームでお申し込みください。



▲専用申込フォームはこちら

問 高齢福祉課 ☎50-3040
FAX 68-10324

認知症相談会

嶺北認知症疾患医療センターの専門職に無料で、個別相談ができます。

日にち	時間	会場
9月13日(金)	13時30分～	丸岡地域包括支援センター
9月19日(木)		春江地域包括支援センター
9月26日(木)	15時30分	三国コミュニティセンター
9月27日(金)		坂井市社会福祉協議会本部

※完全予約制ですので、ご希望の会場がある地域包括支援センターにお申し込みください

●丸岡地域包括支援センター ☎68-1130 FAX82-6116
春江地域包括支援センター ☎43-0227 FAX68-1129
三国地域包括支援センター ☎82-1616 FAX43-0228
坂井地域包括支援センター ☎67-5000 FAX67-2807

認知症サポーター養成講座

in 認知症カフェ

認知症について学びませんか。ぜひ、この機会にご参加ください。

とき 8月27日(火)

ところ 13時30分～15時

定員 15人(先着)

申込方法 アル・プラザアミ 電話で左記へお申し込みください。

問 リフレ調剤薬局 67-7670